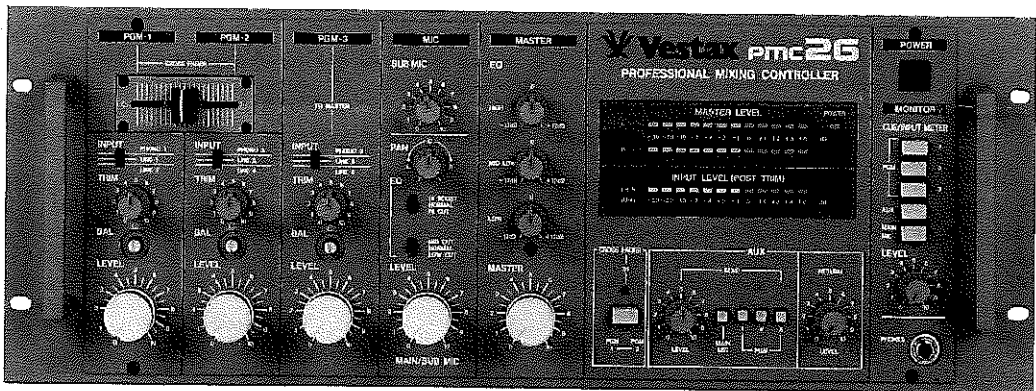


**Vestax®**

Professional Mixing Controller

# PMC-26

取扱説明書



VESTAX CORP.

2-37-1 Kamiyama, Setagaya-ku, Tokyo 154 Japan

Phone: 03-3412-7011 Fax: 03-3412-7013

VESTAX MUSICAL ELECTRONICS CORP.

2860 Cordelia Rd., Suite 120 Fairfield, CA 94585 U.S.A.

Phone: 707-427-1920 Fax: 707-427-2023

VESTAX (Europe) Ltd.

18 St. Christophers Road, Haslemere, Surrey GU 27 1DQ England

Phone: (0)1428-653117 Fax: (0)1428-661021

## ごあいさつ

この度は、VESTAX PMC-26をお買上げ戴きまして誠にありがとうございます。ご使用前に、本取扱説明書をよくお読みいただきますようお願い致します。

## PMC-26 の特徴

- \* 世界のトップDJの意見をもとに作られた、新設計のオリジナルロータリーフェーダーは、微妙なロングミックスを可能にしました。
- \* 新開発のクリエイターにより、曲の中の各種音源の核となる特定の周波数をブースト/カットすることにより、ビートやリズムの躍動感を作り出すことができます。
- \* マイク部は、メインマイク、サブマイクの2本が同時入力可能です。また、4種類のランブルフィルターにより周波数特性の違う様々なMICに合わせた8通りのイコライジングが可能で、プレス音のカットやハウリング防止に最大限の効果を発揮します。
- \* ミキシング操作のじゃまにならないように、左上部に、クロスフェーダーを配置しました。これにより、素早いカットイン/アウトが出来ます。アカベラ等、ハウスミュージックでのショートミックスも容易に行えます。
- \* バランスボリュームを各PGMに装備し、各の定位を変更することができます。
- \* フォノ3系統、ライン6系統(STEREO)、合計11系統ものインプットソースの中から任意の3系統を選べます。
- \* 各チャンネルには、TRIMボリュームが装備され、CD、レコード毎に違っている再生レベルを容易に平均化でき、スムーズなミックスが可能です。
- \* 各チャンネルのエフェクトセンドスイッチにより、2 IN-2 OUTステレオセンド/レシーブでデジタルディレイ、リバーブ、サンプラー等、多彩なエフェクトテクニックを駆使できます。
- \* 16点ピークホールドインジケーターに加えて、オプションインジケーターは、マスターアウトのレベルを表示させることだけでなく、各PGMに入力されたレベルも確認することができます。
- \* モニター部には、ステレオプログラムモニターシステムを採用しました。
- \* 長年の経験とデータにより作られたクロスフェーダーは、過酷なスクラッチにも耐える耐久度とカーブを持っています。もちろん今や世界中のミキサーメーカーが採用しているV.D.C.(ベスタクス・デタッチャブル・クロスフェーダーシステム)によりメンテナンスも容易です。
- \* EIA 19 inch 4U ラックマウントサイズのコンパクトで多機能なDJミキサーです。

## アフター・サービス

1. 本機には保証書を添付してあります。所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認の上、大切に保管して下さい。
2. 保証期間中は、保証書の記載内容により、弊社サービス機関が修理致します。
3. 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、または当社サービスにご相談下さい。  
保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

## 安全上のご注意

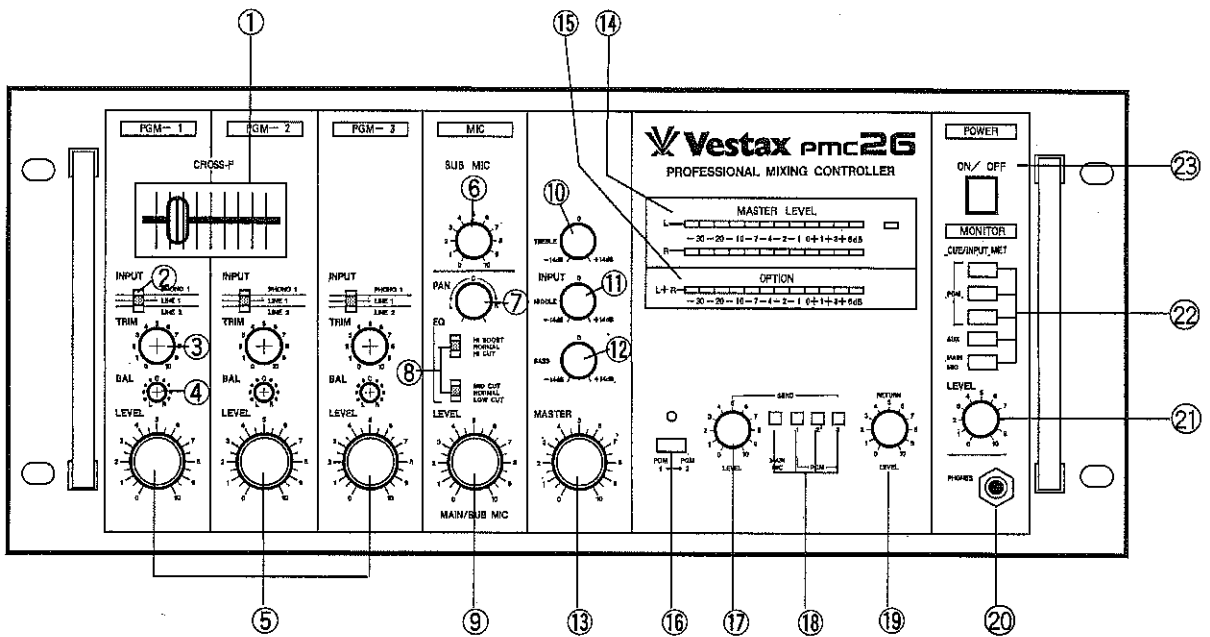
- 本機に付属されているアダプターは交流(AC)電源100V専用ですので直流電源や他の異なる電圧の交流電源に直接つないで使用するできません。なお、電源周波数(50Hzまたは60Hz)の調整は不要です。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは必ずプラグを持って抜いて下さい。無理にコードを引っ張ったりして抜くとコードを傷めてしまいます。
- 水などに濡れた手でプラグを持ってコンセントに抜き差ししないで下さい。感電することがあり、大変危険です。
- ビニール等の被膜が切れたりこすれたりして芯線が露出している電源コードをそのまま使用すると、感電や火災の原因となります。また、本機内部に水等の液体や可燃物およびピン等の金属類をいれないようにご注意ください。感電や故障の原因となります。
- 本機外装カバーを取はずして内部に手を触れないで下さい。この結果生じた損傷、感電や火災等について、当社はその責任を負いません。

## 設置上のご注意

常温(5~35℃)、通風が良い、頑丈で電源電圧の変動が少ない場所に設置して下さい。アルコールやシンナー等の溶液で塗装面を拭かないで下さい。塗装がはげることがあります。

## ご注意

PMC-26の本体の保証期間は1年ですが、クロスフェーダー等をパーツの耐久力を超えた苛酷な使い方、例えばスクラッチなどでお使いになると、通常パーツの耐久時間として保証されている時間(1年)以上を1ヶ月の内にお使いになられることがあります。その場合の交換につきましては、弊社の判断により実費を請求させていただきます。また、パーツに無理な力を加えると破損することがありますので、本機の性能に疑問が生じた場合には、お買上げの販売店か弊社までお問い合わせ下さい。

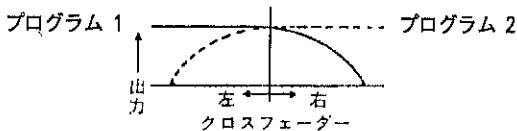


## 各部の名称と機能

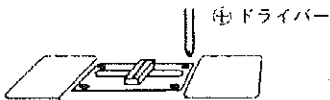
### フロントパネル

#### 1. CROSS FADER

左側に移動するに従いプログラム1の音が、右側に移動するに従いプログラム2の音が、それぞれ出力されます。また、中央部では両方の音が同時に出力されます。



クロスフェーダーを動かしたとき、ノイズが目立つようになった時や、20mmフェーダーをご使用になりたい時は、クロスフェーダーユニットを交換して下さい。交換の際は、下記の要領で行ってください。



クロスフェーダーユニット取付けネジ(4本)を外します。クロスフェーダーユニットからマルチケーブルコネクタを抜きます。

新しいクロスフェーダーユニットにコネクタを差し込み、クロスフェーダー取付けネジ(4本)で固定します。

#### 2. INPUT(入力ソース選択スイッチ)

各PGMに、どの入力を立ち上げるかを選択するスイッチです。プログラム毎に、リアパネルに接続された3つのステレオ入力ソースの中から選択できます。

プログラムは次のようになっています。

PGM-1……PHONO 1, LINE 1, LINE 2

PGM-2……PHONO 2, LINE 3, LINE 4

PGM-3……PHONO 3, LINE 5, LINE 6

PHONO入力には、RIAAイコライザーがはいつています。LINE入力には、CDプレイヤー、TAPE DECKの出力を接続して下さい。

NOTE: PHONO入力には、MMタイプのカートリッジのついたターンテーブルを接続して下さい。MCタイプのカートリッジをご使用になるときは、ヘッドアンプが必要となります。

#### 3. TRIM(トリム・ボリューム)

各チャンネルの入力レベルを調整します。インプットフェーダーとマスターフェーダーを7~8の位置にセットしてマスターフェーダーLEDレベルメーターの+3dBが時々点灯する位置にセットして下さい。

#### 4. BALANCE

各PGMの入力のLチャンネル、Rチャンネルのバランスを設定します。

#### 5. LEVEL(チャンネル・レベル・ロータリーフェーダー)

各チャンネルの入力ロータリーフェーダーです。通常7~8の位置でお使い下さい。

#### 6. SUB MIC(サブマイク用入力調整ノブ)

リアパネルにあるPHONE JACKに接続されたサブマイクの入力レベルを調整します。

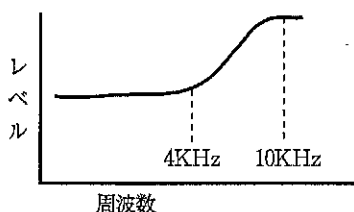
## 7. PAN (パン・ボリューム)

リアパネルにあるPHONE JACKに接続されたメインマイクの定位を設定します。

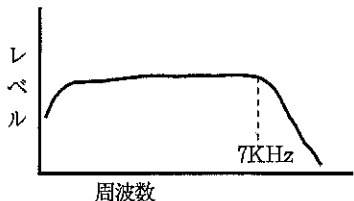
## 8. MIC EQ

マイク入力のみにかかるランブルフィルターです。使うマイクの種類によって、また、プレス音やハウリング防止の時に、この二つのスイッチを組み合わせ使用して下さい。各フィルターの特性は下図の通りです。

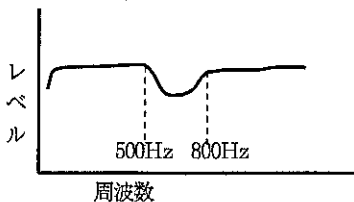
### HI BOOST (ハイブースト)



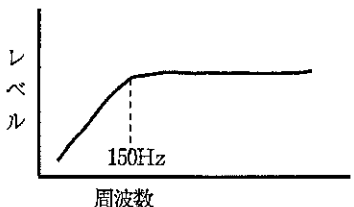
### HI CUT (ハイカット)



### MID CUT (ミッドカット)



### LOW CUT (ローカット)



## 9. MAIN MIC (メインマイク入力調整ノブ)

リアパネルにあるPHONE JACKに接続されたメインマイクの入力レベルを調整します。

## CREATOR (クリエイター)

クリエイターは、今までにない全く新しいタイプのアクティブイコライジングエフェクターです。これまでのイコライザーは、音質補正のための機能でしたが、クリエイターは、曲の中の各種音源の核となる特定の周波数をブースト/カットすることにより、ビートやリズムの躍動感を作り出すことができます。なお、マイクチャンネルに入力した信号は、クリエイターはかかりません。

## 10. TREBLE (トレブル)

高音域帯をブースト/カットするボリュームです。右回しでブーストされ、左回しでカットされます。シンバル、ハイハット系の音を強調して、リズムにアクセントをつけたりするときに使用します。リズムに合わせてブースト/カットして下さい。

注：高い周波数帯をブーストすると出力レベルが極端に上がり、接続される機器によっては歪んだり、ダメージを与えたりする事がありますのでレベルには充分ご注意ください。

## 11. MIDDLE (ミドル)

中音域帯をブースト/カットするボリュームです。右回しでブーストされ、左回しでカットされます。ボーカルソースやメロディソースだけをカットして、リズムソースを強調するときに使用します。また、大型のスピーカシステムを使用する場合、ホーンスピーカの音量が強すぎて、パワーアンプの出力を上げられないことがあります。その時にはこのボリュームでカット気味にセットするとうるさくなく、しかも迫力のある低音を作り出すことができます。

## 12. BASS (ベース)

低音域帯をブースト/カットするボリュームです。右回しでブーストされ、左回しでカットされます。バスドラム等のリズムソースのベース音源をカットして、アカペラ効果を出す時に使用したり、逆にリズムに合わせてブーストしてビートにメリハリをつけたりする時に使用します。

注：接続されるパワーアンプやスピーカーの耐入力を越えないように全体のレベルを良くチェックして下さい。

## 13. MASTER LEVEL (マスターレベル)

リアパネルのLINE OUT端子から出力される信号のレベルを調整します。

## 14. MASTER PEAK LEVEL METER

LED バーグラフによりL, Rの出力ピークを表示します。

## 15. OPTION PEAK LEVEL METER

CUE SELECTORで選択したPGM 1, 2, 3 AUX, MAIN MAICの何れかをLEDバーグラフにより出力ピークを表示します。

## 16. CROSSFADER IN/OUT SW

(クロスフェーダー・マスター切換えSW)

PGM 1, 2の各チャンネルを通った入力信号がクロスフェーダーを通るか通らないかで出力されるかどうかを選択するスイッチです。入力信号がクロスフェーダーを通過している場合は、LEDが点灯します。

## 17. AUX SEND (AUX出力調整ノブ)

リアパネルのAUX SEND端子と接続した外部エフェクターに送る信号のレベルを調整します。クロスフェーダー使用時はクロスフェーダーの後から信号を取り出しマスターフェーダーの前に戻していますので、クロスフェーダーを使ったカットアウトにエコーをかける等、様々なテクニックが使えます。

## 18. AUX SW (AUX切換えスイッチ)

AUX/SEND端子に接続した外部エフェクターに信号を送るときにご使用下さい。

19. AUX RTN (AUX入力調整ノブ)

リアパネルのAUX RTN端子に接続した外部エフェクターから入力する信号のレベルを調整します。

20. PHONES (ヘッドフォン端子)

このジャックにヘッドフォンを接続して下さい。800~600Ωまで使用可能で、適正は150Ωです。

21. LEVEL (ヘッドフォン・ボリューム)

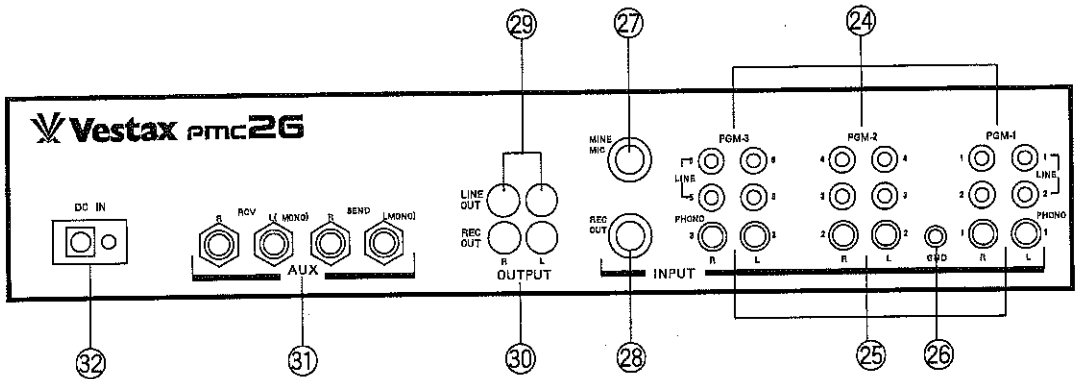
ヘッドフォンのモニターレベルの調整用ノブです。

22. CUE SELECTOR

1~3のプログラム、マイクチャンネル、エフェクトレシーブレベルのステレオキュー・モニター選択スイッチです。

23. POWER (電源スイッチ)

電源がONになりますと、POWERインジケーターが点灯します。



リアパネル

24. LINE INPUT L/R [1~6] (RCA PIN JACK)

各ラインレベル機器の入力端子です。CDプレイヤー、テープデッキ、VTR音声出力等を接続して下さい。

25. PHONO INPUT L/R [1, 2, 3] (RCA PIN JACK)

各PGMのターンテーブルの入力端子です。MMカートリッジのセットされたターンテーブルを接続して下さい。

\*LINE 入力のみを使用し、PHONO入力を使用しない時はショートピンプラグ(別売)を、PHONO INジャックL, Rに接続して下さい。PHONO IN JACKをオープン状態にしておくと、音もれ(クロストーク)の原因となる場合があります。

26. あります。

GND (グラウンドターミナル)

27. 各PGMのターンテーブルのアース端子を接続して下さい。

MAIN MIC (1/4 inch PHONE JACK)

28. メインマイクの入力端子です。

SUB MIC 1 (1/4 inch PHONE JACK)

29. LINE OUT L/R (RCA PIN JACK)

マスター出力です。パワーアンプの入力、又はAUX(外部入力)端子に接続して下さい。

30. REC OUT L/R (RCA PIN JACK)

録音用の出力です。外部のテープデッキの入力端子又はオーディオアンプ等のAUX端子に接続して下さい。また、サブ出力としてメイン出力とは別に出力が必要な際にもお使い下さい。なお、この端子から出力される音にはマスターボリュームは効きません。

32. EFFECT SEND RTN (1/4 inch PHONE JACK)

外部エフェクター(ディレイ、リバーブ)等の入力をSENDに、出力をRECEIVEに接続して下さい。ステレオイン/ステレオアウトだけではなく、モノイン/ステレオアウト、モノイン/モノアウトのエフェクターにも接続が可能です。モノラルでご使用の際は、L端子をお使い下さい。

32. DC IN

電源アダプターの入力端子です。専用のアダプター(PC-15)を使用して下さい。

SPECIFICATIONS

入力系	定額入力レベル	最大入力レベル	入力インピーダンス	周波数特性	
MAIN MIC, SUB MIC	-46dB	-22dB	3KΩ	MAIN MIC, SUB MIC	50Hz~15KHz
PHONO 1~3	-42dB	-22dB(1KHz)	50KΩ	LINE	+0, -3dB
LINE 1~6	-10dB	+12dB	30KΩ		50Hz~25KHz
AUX RTN	-10dB	+10dB	50KΩ	S/N比	+9, -1dB
				MIC-LINE OUT間	60dB以上
				クロスフェーダー間クロストーク	(聴感補正ナシ)
出力系	定額出力レベル	最大出力レベル	最適負荷インピーダンス / 出力インピーダンス	電源	60dB以上
LINE OUT	-10dB	+12dB	10KΩ以上/220Ω	外形寸法	DC-15DM
REC OUT	-16dB	+6dB	10KΩ/1KΩ	重量	482×102×176
AUX SEND OUT	-10dB	+12dB	10KΩ/220Ω		4 kg
ヘッドフォンOUT		90mW(47Ω負荷時)	8Ω以上/47Ω		

# PMC-26 プロックダイアグラム

